

KSKQ あかねニュース No. 77

川西市障害者共働作業所あかね

〒666-0017 川西市火打 1-5-19

Tel&Fax 072-755-4101

ホームページ akanesan.net

E-mail: rasseyai-akane@deluxe.ocn.ne.jp

ガイヘル「心もより」

ほぼ2年ぐらい前のあかねニュースに、ガイヘル(ガイドヘルプ。移動支援事業)について、2回にわたって述べました。その時は「NPOあかね」におけるガイヘル活動の沿革とガイヘル制度の概要、効用と問題点などについて論じたと記憶しますが、今回はその「効用」部分にスポットを当ててみます・・・いつも「問題点」ばかり取り上げていては気が滅入りますし。

この制度の中で重要な役割を担っている、一枚の緑色のペーパーがあります。通称「ガイヘルカード」(正しくは「ガイドヘルパー実施カード」)。このカードは、利用者・保護者・ヘルパーそしてあかねスタッフを結ぶ貴重な情報伝達資料なのです。

例えばあかねのメンバーの、

仮にAさんがガイヘルに行くことになったとします。スタッフが実施年月日、ヘルパー名、行き先、ヘルパーとの集合場所・時刻などをカードに書いてAさんに渡す。Aさんは家に帰ってそれを保護者に見せる。保護者はAさんに当日持たせるお金の額を「利用者所持金額」欄に、Aさんについて事前にヘルパーに伝えておきたいことがあれば「利用者の健康状態、配慮すべきことなど」と書かれた欄に記入して、Aさん(すなわち利用者)に渡す。

ガイヘル当日、Aさんはヘルパーに会ったら、まず初めにガイヘルカードをヘルパーに渡す。ヘルパーは保護者による記入事項があるかを確認の上、さあ出発!!

楽しく一日を過ごした終盤、別れるまでの間隙を縫ってヘルパーはガイヘルカードに記入する。行動の経路、使った金の明細、そして「今日はこんなことをしました。利用者さんは、こんなふうでしたよ」といったことを保護者に伝える。「ヘルパーの報告・感想など」の欄を次々に埋め、別れ際にAさんに渡す。

Aさんは帰ってそれを保護者に見てもらってから、翌日あかねのスタッフに渡す...というのが、このカードのフローです。このカードの中で、最も重要かつ最も興味深い部分はどこだと思われますか?...もちろん、「ヘルパーの報告・感想」の欄。ちよっとスペースが小さすぎるのではないか?と思いつながらよく見たら「余白不足の時は裏面にどうぞ」と書いてありました。

私は、2003年の11月から、あかねのガイヘル助成金申請手続き事務をお手伝いしてきました。あかねがガイヘル事業活動を本格化するためにNPOを立ち上げたのが2003年4月でしたから、ほとんど初めからと云っても良いでしょう。毎月平均4〜50枚のガイヘルカードを整理して申請資料を作るのですが、その作業をしている時間中は数字やデータ（誰がいつ、どのヘルパーと何時間ガイヘルをしたか、などの）を追うのに精一杯で、カードの一番面白い部分「ヘルパーの報告・感想など」を読み始めようものならそれこそ「引越の荷物整理」みたいなことになってしまいますから、これはご法度。したがって、これに目を通すのは申請資料が出来て提出したあとになります。



今の仕組みでは、残念ながらこの資料を閲覧する機会を与えられているのはNPOのスタッフのみで、私はそのことが残念でなりません。もちろん、記入したヘルパー本人や、利用者とその保護者は目にすることは出来ませんが、あくまでも自分たちが関わったガイヘル活動に限られます。色々なメンバー・ヘルパーたちの報告・感想を読み比べることによって、興味が倍加するのです。「興味」とは具体的には、利用者（メンバー）の人間像がガイヘル中の言動から浮彫りになったり、利用者を見るヘルパーの視点から、そのヘルパーの人間像に迫れたりする…と云うことを指します。

私自身もさることながら、あかねのスタッフたちには、超多忙な日常業務の「忙中閑」を縫って時間を割いて、ガイヘルカードを入念に読んでもらうようにしています。そこには、メンバーたちが、日頃の作業所での活動の中では見られない（見せない）「別の顔」（多くの場合、生き生きとしている！）を見せる、貴重

なシーンが記録されているからです。もともと、スタッフ自身もガイドヘルパーとして活躍していますから、かなりの程度まで把握出来ているのは当然ですが。

たとえば、メンバーF・Nさん（女性）をガイヘルしたヘルパーさんの記録からご紹介してみましよう。F・Nさんは一人暮らしなので毎週末、ヘルパー（同姓介護の原則から、基本的には女性）が代るがわるガイヘルをします。そのぶん機会（回数）が多く、女性ヘルパー特有の細かい観察眼・描写力も手伝って、読みごたえのあるガイヘルカードは枚挙に暇がありません。幾つか抜粋すると、
「お金をためてインドへ旅行したいなあ、という話で盛り上がりました。
“やっぱり自分で働いてためたお金で行くのがええ！”と云っていました。
「蒸し暑くて歩くのが鈍りがちだが、ゲーム（ボーリング）やお茶をする時はシャキッ！！と。」

「スシローへ。数の子が好きで、人が一杯でも“ならんで待つ!”ときつぱり。「久しぶりの宝塚歌劇で喜んでいました。“私も踊ってみたいが人前ではちよつとはずかしい”と。」等々。

数人のヘルパーからのさまざまな感想ながら、一様に言及しているのはF・Nさんが自分の気持を素直に言葉や様子であらわしているということでした。作業所での毎日を見るかぎりでは思い及ばないF・Nさんの強い意思表示も見受けられ、良い意味で「意外な」発見をしたものです。

同様に、F・Nさん以外の利用者でも(誰が誰に対してのコメントか、あえて申しませんが)「USJへ。暑くて、初めてバテた姿を見たが、ジェットコースター15回も乗ったから無理もないかな。」

「映画“わが母の記”を見る。最後のほうでウルウル。おばあちゃんを思い出していたのかな?」「演奏会中チラシやアンケート用紙を拡げたりたたんだりの音で周囲の人に迷惑をかけたので、休憩時間中に“厳重注意”したところ後半はピタッと

直った。」「映画“源氏物語”鑑賞。終るなり“良かった!”と。どう良かったか聞くと、生田君の演技、衣裳がきれい、日本語がきれい、と感想をしつかり述べてくれた。」「そういえばあいつ今日、僕のことをセンセイ!」って呼びかけよった。これってすごい!」(因みにこのコメントは、ボランティアでガイヘルに関わって下さっている小学校の先生が、昔の教え子を連れて久しぶりに出かけたときのものです。)などと、予想を超える「積極性」・「社会性」・「感受性」・「表現力」などの発見を伝えるレポートの多さに目を奪われます。

反面、「万博公園・民族博物館。見てまわりながら“面白い?”、ウン、“どう面白い?”、わかんない、の繰り返しでした。」

「傘を開くことは出来るが、たたむことはどうしても出来ない」など、「あらためて壁の厚さを感じた」というトーンの報告も散見され、複雑な気持ちになったりもします。

ガイドヘルパーの皆様、どうぞこの「報告・感想」の欄に、是非たくさんの事を書いてください。そして、「今日はどこへ行って何をしました」といった事実の列記だけに終わらず、皆さんの目を通して見た利用者(メンバー)たちの明るくも逞しい行動力や感性を、皆さんの言葉でしっかりと保護者に伝えてさしあげてください。

そしてメンバーたちがガイヘルを通じて、皆様に対して(もしかしたら保護者に対して以上に)広く心を開き、皆様と心をかよわせる様子を、そしてそれについて皆様が感じられたことを、生き生きと語ってください。カードの読者は、利用者の保護者だけではない。あかねのスタッフ一同も、睡眠時間を削ってでもガイヘルカードを読んでいます。

記入スペースが足りなくなったら「無制限」の裏ページを使って良いそうですから!!

芳川 雅美

「共に生きる」実践を積み上げて

いつの時代も人は生きること、苦しむ。

老いて苦しみ、病んで苦しみ、死ぬことに苦む。東北大震災もまさに、その事を問うている。苦しい時には、自分のことしか見えない、考えられないが、その自分を助けてくれるのは、自分だけの力では助からない。苦しい時代からこそ、他人の力や自然の力を借りて人は立ち直ることができる。

「そんなこと、わかってる」はずなのに。身近なわが街、川西市で起こってしまった高校生の自殺……悲しいニュースが聞こえてきた。高齢化の進むこの街で、若い命がまた一つなくなってしまった。

もったいない！次世代を荷う若い人たちに何を残せばいいのだろう。苦しくなると人は弱い人を排除しようとする。

強い人は弱い人を排除し、ますます強くなるうともがくのだが、それは違う。その行先は決して強い社会ではない。

昔、スパルタの国は戦い続けて弱い人を殺し、強い人がどんどん生き残っていった。しかし、現在、スパルタの国はこの地球上に存在すらしていないではないか。苦しい時代だからこそ、弱い人たちの助けを合せて生きる心豊かな社会をめざしたい。



最近、妊婦の「出産前検診」でダウン症のチェックが90%近く診断できるという。賛否両論の中で、それでも「生む」ことを選択した人達へ心からエールを送りたい！

人はこの世に「役割」をもって生まれるという。どんな障害があろうとなかろうと人それぞれに役割をはたしている

という実感は、毎日障害者たちとつきあってみて、彼らの威力を感じることである。世の中は今、大きく変わろうとして混乱の中にあり、ちっぽけなあかねの組織も苦しいところに立っている。

人手が足りない、お金が足りない、足りないだらけの作業所に、またまた問題発生。現在のあかねの作業所を移転しなければならぬ。川西北地区再開発によりどこかへ変わることを指示されている。

この30年間、順風満帆で来たことはいつもない。なんとかやってきたのもたくさんの方々の応援があった。人手が足りない！といえば、ボランティアの方々誰かが応援に駆けつけて下さった。

お金がピンチになれば、行商で助けてもらったり、少しでも……と言いつつながらカンパを頂いたり……ほんとうに、ほんとうに、皆さん、ありがとうございます。

なんとかかんとかやってこられた、生きてこられたのは、多くの方々のこのやさしさだった。この力をお互いさまに出し合って、助け合っていけたら……と思う。

自殺などさせてはいけません！また、してはいけません！と。「助けてえー」と言える関係をつなぎましょう。

10月1日から緑台老人福祉センターの工事に入り、囲碁や将棋の方々のご利用ができなくなりますので、こんな時こそ私は地域へのご恩返しになればと、センターのすぐうらにある、あかねはうすを無料開放いたします。どうぞ、どなたでもお気軽に使って下さい。囲碁や将棋の道具も揃えてお待ちしております。

そして、にぎやかに、楽しく過ごしましょう。



富田啓子

風に吹かれて

「スポーツの秋」「読書の秋」「実りの秋」「食欲の秋」：皆さんはどんな秋を思い浮かべますか？秋の爽やかな風を感じられるようになり、今が旬の野菜や魚などが店頭を賑わせています。各地域や学校でも運動会が開催され、あかねも運動会のお弁当作り、配達と大忙し。大人も子供も秋は楽しい季節。先日山奥の学校で小さな運動会がありました。生徒数50名足らず、地域の住民との合同運動会。

子供が少なく今年度で学校も最後だそうです。地域の方もとても残念そうにされていました。山々に囲まれたグラウンド、子供からおじいちゃんおばあちゃん皆で盛り上げるその和やかな運動会に、昔まだ小さかった頃に地域でこのような運動会があったことを思い出しました。皆、運動会だからと、いつにない豪華なお弁当もつてレジャーシート広げて家族、友達、近所

の人とワイワイとやっていたなと。

あまり見かけなくなつた懐かしい光景。最近核家族も増えてか、少し寂しい雰囲気。運動会の話で以前ニュースで聞いて驚いたのが徒競走などはスポーツが苦手な子どもが可哀想だから「皆頑張りましたで賞」など順位をつけないところもあるとか。僕らの頃では考えられないことも運動会に限らずしばしば耳にします。



平等という意識から？なのかな…。

何か腑に落ちないな。勉強の成績などはそんなことなく未だに小さいころから受験戦争に子供らは大忙し。大人になってもこの不景気の中で「お金」が第一な社会の有様。変なところだけ平等やらなんやらこだわって一番大事などころでは差別だらけ。教育にしても本当に平等に機会が与えられているとは思えられません。

「共に生きる」為の基本理念はどこにあるのか？障害があっても、それぞれ個人を取り巻く環境が違えども、一緒に同じ環境で生きて行く、成長していく事が大事なのでは。そんなこと思いながらの秋の運動会日和の1日でした。



渡辺 誠

駐車場で店開き

あかねニュース75号で行商商品の紹介と行商先をいつでも募集していることを掲載させていただいてすぐに、あかねメンバーのご近所の方々から「駐車場であかねの商品販売をお手伝いしますよ!」とのご連絡をいただきました。

能勢電鉄畦野駅の大和地区のこの方々は以前から、たまたま近くを通ったので突然インターホンを押して行商にお伺いしても、いつも笑顔で迎えて商品を購入してくださるばかりか、「誰々さんと呼んできてあげるわ!」と隣近所の方々に声をかけてくださり、皆さんたくさんお買い物をしてくださっていました。夏祭りにももう何年も手伝いにきてくださり、この地域のお祭りになくてはならないほどすっかり頼りにさせていただいています。

その方たちが、毎月一回、あかねメンバーのおうちの駐車場にテーブルを出してあかねの手作りケーキや行商商品並べて、お買い物をしてくださるだけではなく、ボランティアでメンバーと一緒に店番までしてくださることになりました。隣近所のお付き合いが希薄になっていたと言われているこの時代に、こんなふうにお声を掛け合い、助けてくださるこのような関係は一日にしてできたのではないはずです。

自分の弱さやつらさはお隣や距離が近ければ近いほど見せたくないものです。電話相談やインターネットで顔の見えない関係なら言える悩みも自分の知っている人には隠したくなってしまうものではないでしょうか。

それでも「助けて、手伝って!」と言えたことに大変な強さを感じ、それを取り囲む絆の暖かさに心が触られます。

そして障害があるとか、ないとかに関わらず誰にでも良い時も悪い時もあり、それをお互いに受け止め合い、持ちつ持たれつ分かち合いながらお互い様の関係がそこにあるのを感じます。

「地域で共に生きる」ということがどういうことかを見せていただいている気がします。

法律ができ、制度が整い障害者を取り巻く環境が一見よくなったように思えますが、それ故に、自己責任、あなたは支援される人、私は支援する人というようにそこに隔たりができてしまうような気がしてなりません。

その制度の中でお仕事をさせていただいている者がいうことではないかもしれませんが、いつか「福祉」や「支援」なんて言葉や仕事がなくても、もつと普通にみんな持ちつ持たれつお互い様で、どの職場でも、どの町の隣近所でも障害のある人も、そうでないと思っている人も弱さを補い、強さを分け合いながら生きて行ければいいのと思うのです。

岡田 小月

心の豊かさについて

暑かった夏もやつと終わり、厳しい残暑といわれながらも、朝夕はめっきり涼しくなってきました。気がつけば、お昼間何気なく空を見上げると、「運動会雲」と子ども頃から勝手に命名している、秋空の象徴「うろこ雲」が空一杯に広がっています。能勢電鉄平野駅でも、地元の農家さんが作っておられる野菜を売る市がたつので

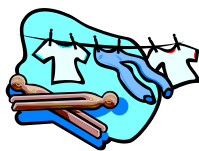
すが、どんどん秋の作物が登場しています。私は、そんな周りにあるものを(自然や生き物、作物等)を感じるたびに、「もう秋なんやなあ」と思い、そして、そんな気持ちになる事が以前より多くなったように思うのです。

そんな季節を感じている自分に気がついたのは、この暑い夏でした。

あかねには、私も私が密に「洗濯姫」と命名したメンバーがいます。作業所では、お弁当の配達や回収したお重箱の洗いなどがあり、毎日、風呂敷や、お重箱を拭いた後のタオルなど、たくさん洗濯物が発生します。彼女は、その洗濯物を毎日洗濯し、干し、取りこんでたたみ、片付ける作業よく行っています。

積極的な日、文句タラタラの日、状況は様々ですが：作業所を囲むフェンスに、それは「美しく」、「丁寧」に、「几帳面」に、干しあげていくのです。私などがヘタに手伝い、几帳面さのカケラもない干し方をする、後で、やり直されている場合も多々あります。

この夏は、スコールのような雨は時折ありましたが、快晴の日が多く、彼女は、毎朝、洗濯物を干していました。空を見ては今日の天気を考え、雲を見ては「入道雲がでると雨がふる」と私に教え、干している最中に蚊が出るので腰から下げる「蚊取り線香」があればよいと言い、蟬はうるさいのであまり好きではないと文句を言いながら、完璧に干せた洗濯物をみて、満足気にするのでした。そのうち、私も入道雲を気にするようになり、夏は、空は青く、高く、乾いた風がふき、蟬がうるさかった事、そういうば蚊にさされるのが子どもの頃から大嫌い、いつも実家は「蚊取り線香」の匂いが充満していた事を思い出しました。そして、丁寧に干された洗濯物が真っ青な空に、風でバタバタしている風景を見て「夏やなあ」と思い、なんともいえない満ち足りた気持ちになるようになりました。



私と彼女は同年代です。お互い今まで生きてきた環境や状況の違いはありますが、同じ「洗濯」という作業の中で、彼女は、たくさんの事を思ったり、「季節」を当たり前に感じる心を持っています。

ですが私は、効率よく時間がかからないように…と、なんとも味気ない考えしか浮かんできません。この味気なさは、仕事上、否定される考えではありません…でも、私は、ここで「心の豊かさ」という事を思いました。季節や自然を感じ、美しいものを美しいと思い、頑張った事への満足感や充実感で心が満ち足りていくという事が、心に豊かさをもたらしてくれるのではないのでしょうか。

当たり前のことなのですが、私は、どこかで忘れていました。そもそも大人になつてから、そんな事を考えた事があっただろうかと疑問に思います。しかし、洗濯物を通して、彼女の豊かな感性にふれ、もう一度、夏空の美しさを感じる心を、取り戻せたような気がするのです。

おくがましい話ですが…1年前より

今の私のほうが、顔が穏やかで笑顔が素敵（笑）・・・と思うのは気のせいかなあと密かに思う今日この頃です。

最近、「いじめ」に関するニュースが多く報道されています。その内容は、とても卑劣で残忍なものばかりです。「いじめる」人に対して、腹もたちますが、私は同時に、とても憐れみを感じます。なぜかというところ…この人達は、人を傷つけたり、自殺に追いこんでも、何も感じない心を持つているからです。その人を取りまく環境や状況が育んだものもあるかもしれませんが、きつとこの人達は、美しいものを美しいと思うことも、人との繋がりがや暖かさも、わからないまま生きていくのでしょうか。その事が、人間として、どんなに憐れな事なのか、そして夏空の美しさを感じる事のできる「心の豊かさ」を持つことがどんなにすばらしい事なのか、いつか気づいてほしいと思います。



竹内佳子

被災障害者支援

★ゆめ風基金募金活動へのご協力をお願い★

毎週月・水・金曜日の午前11時から13時まで能勢電鉄平野駅の改札口付近で弁当とケーキ販売をしておりますが、その際、テーブルに「ゆめ風基金」の募金箱を設置しております。

被災地には、まだまだ、継続した支援が必要です。ぜひ、皆様の暖かいご協力をお待ち申し上げます。



支援者の皆様に

賛助会員加入と更新のお願いです！

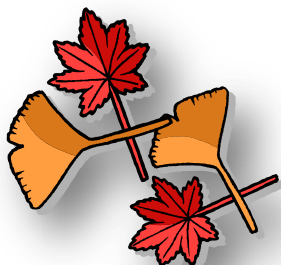


日頃は、私たち「あかね」のメンバーやスタッフに、物心両面にわたる多大のご支援、ご協力をいただき、まことに有難うございます。

今年も賛助会員更新のお願いをさせて頂きたいと思います。

賛助会員制度は NPO 発足と同時にスタートしており、すでに多くの皆様にご入会いただき、賛助会員（年間 1000 円。あかねニュース購読料を含む）も頂戴しております。初めてのカタも、未更新のカタも、同封の振込用紙をご利用下さい。尚、締切日は特に定めておりません。

あかねのメンバー（利用者）は現在 13 人。弁当配達・回収と容器洗行商・イベントやカレンダーの街頭もしくは訪問販売など独自の事業に年間を通じ忙しく過ごしていますが、それでも彼らの工賃（給料）は法定の最低賃金の 5 分の 1 にも届きません。職員人件費、作業所運営経費も含めると「就労継続支援 B 事業」として頂戴する助成金だけでは賄いきれず、これら「あかね」独自事業の収益への依存が一段と高まっています。皆様にはあかねの厳しい財政状態をお察しいただき私どもが企画する事業・行事にご支援ご協力くださいますと共に上記「賛助会員」と併せ、なにとぞカンパを頂戴いたしたく、失礼を顧みずお願い申し上げます。



川西市共働作業所あかね

あかねオリジナルカレンダー販売・お申込みについて

この申込用紙に必要事項（下記参照）をご記入いただき、FAXでお申し込みください。

もちろん、お電話・メール、またホームページからも簡単にご注文いただけます。



ミシン目が入っていて
切り取ると3月が出てきます。

今年も、「あかねオリジナルカレンダー」の季節がやってまいりました。今回のカレンダーも、昨年から引き続き、山内和子さんの心温まるイラストをお願いし、また、皆様からの要望にお応えして、2012年度版と同様に、切り取り形式（左参照）で製作しています。

今年も、どうぞ皆さまとのご縁が結べますよう、よろしくお願いします。昨年度は東北への義援金として100円アップで販売いたしましたがその時の賛否両論をふまえ、今年は例年通りの価格で販売いたします。その時、もしよろしければカンパとして追加の方々に我々の気持ちを届けようと思いました。ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

1部 1,000円 ※送料別

【配達・郵送お申し込み】

（ ）本申込ます。

●お名前（ ）

●ご住所（〒 ）

●お電話（ ）

* プレゼントなど、郵送先が上記と異なる場合はこちらまでご記入ください。

●お名前（ ）

●ご住所（〒 ）

* 川西市内・猪名川町・宝塚／伊丹市一部は配達を承ります。* 郵送料は、全国どこでも何本でも…一律 200円

【お問い合わせ・お申し込み先】

川西市共働作業所あかね

〒666-0017 川西市火打 1-5-19 TEL/FAX 072-755-4101 まで

夏祭り、ご協力ありがとうございました

今年も、夏祭りの出店たくさんのお手伝いの方に参加していただき、ありがとうございました。

また、この6月に、トライやるウィークで、あかね作業所に来られた中学生の皆さんの中からも、早いうちから連絡をくださって当日、お友達と一緒にお手伝いにきてくれたり、直接、出店ブースまできて販売お手伝いをしてくれたりと、頑張っ



あかねでは、毎年、たくさんの行事やイベント地域のお祭りなど、作業所全員で頑張っていますが、そこには、たくさんのボランティアの方達のご協力があります。

そこで…以前からあかねをご存じの方、トライやる・ウィーク等であかねに来てくださった事のある中・高・大学生のみなさんぜひ、一度、のぞきませんか？いろいろなイベントに参加していただいて「あかね」の良さを体感してください！

11月には、毎年恒例「一庫まつり」へ出店いたします。お手伝いいただけるかたはぜひ、一度、ご連絡ください。

日程は次ページ「あかねの掲示板」をご覧ください！

Tel. 072-755-4101

あかねで
ボランティア
しませんか？



「あかねホームページ」

「川西市共働作業所あかね」のホームページを更新しました！

トップ画面には「あかねニュース」をUPし定期的に、イベントや出店または、新製品販売のお知らせしていきます。

今回は、「あかねオリジナルカレンダー」の販売や「あかねまつり」のお知らせをUPしています。ぜひ、一度、のぞいてみてください！

カレンダーは、ホームページから簡単にご購入いただけます！



●あかねの掲示板●

あかね作業所行事予定



・11月10日（土）

「日生中央フリーマーケット」出店

10:00～15:00／能勢電鉄日生中央駅下車すぐ。

みなさんからご提供いただいた商品の数々…頑張って売ってきます！

・11月17日（土）

「おてらいぶ」出店

川西市久代町にある「徳通寺」本堂で実施のグランドピアノ弾き語りライブ

「おてらいぶ」に出店、みなさんもぜひ、素敵な時間をすごしてください…。

※弾き語りライブは…↓

一部：開場 13:30 開演 14:00／二部：開場 15:30 開演 16:00／参加費無料

「輝くにんげんフェア」出店

10:00～15:30／川西市総合センター

・11月18日（日）

「一庫マラソン」出店

8:30～14:00／一庫ダム



毎年恒例の一庫マラソンへの出店です。カレー、おうどん、おでん、フランクフルト等…たくさんのブース出店で大忙し！マラソンには、ボランティアさんと一緒にあかねのメンバーも参加します。ぜひ、応援お願いいたします！

12月・来年1月も、おもちつき、あかね特製巻き寿司販売など…イベント、行事が盛りだくさんです。ホームページなどでもご確認ください。

【編集後記】

秋も深まる今日この頃ですが、あかねはメンバーそろって元気です。あいもかわらず、朝から大騒ぎの毎日…（笑）
今回「ニュース中」でもご紹介しております「あかねオリジナルカレンダー」販売の時期がやってまいりました。10月1日より販売を開始し、既にご購入いただいた方もおられ感謝にたえません。これから、カレンダーをかついで、皆様のもとへ参上いたします！どうぞよろしくお願い致します。

竹内